

2022年7月13日

輸送動向について（2022年6月分）

1. 輸送概況

コンテナは、新型コロナウイルス感染症に伴う需要低迷の影響等を受け、積合せ貨物、家電・情報機器、紙・パルプを除く品目で前年を下回った。

エコ関連物資は、建設発生土の輸送が2021年7月に終了したため前年を下回ったほか、自動車部品は、半導体不足および海外からの部品調達困難により各社が生産調整を行った影響等で減送となった。化学工業品、化学薬品は、自動車各社生産調整に伴う原料需要低迷により低調となった。農産品・青果物は、玉葱が北海道地区では前年の夏季干ばつによる作柄不良、九州地区では価格高騰に伴う長距離輸送の減により低調に推移した。

一方、家電・情報機器は、エアコンの需要回復や一部顧客のモダリティシフトの推進等により前年を上回ったほか、積合せ貨物は、2021年10月からのブロックトレイン運転開始等により増送となった。コンテナ全体では前年比96.9%となった。

車扱は、石油が新型コロナウイルス感染症の影響緩和によりガソリン需要が増えたことから前年を上回った。車扱全体では前年比103.4%となった。

コンテナ・車扱の合計では、前年比98.6%となった。

2. 輸送実績

(単位:千トン、%)

種別 扱別	月 計		前年比	年 度 累 計		前年比
	本年実績	前年実績		本年実績	前年実績	
コンテナ	1,553	1,603	96.9%	4,496	4,700	95.7%
車 扱	602	582	103.4%	1,669	1,639	101.8%
合 計	2,155	2,186	98.6%	6,165	6,339	97.3%

3. 品目別輸送実績表

(単位:千トン、%)

扱 別	品 目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	83	87	-4	95.3%
	化学工業品	139	144	-5	96.7%
	化学薬品	107	113	-6	95.0%
	食料工業品	273	275	-2	99.1%
	紙・パルプ	161	160	1	100.6%
	他工業品	115	115	0	99.7%
	積合せ貨物	279	276	3	101.2%
	自動車部品	53	61	-8	87.4%
	家電・情報機器	33	29	4	112.2%
	エコ関連物資	38	56	-18	68.5%
	その他	272	288	-16	94.5%
コンテナ計	1,553	1,603	-50	96.9%	
車 扱	石油	389	371	18	104.8%
	セメント・石灰石	113	110	3	102.6%
	車 両	65	60	5	107.3%
	その他	36	41	-5	86.9%
	車 扱 計	602	582	20	103.4%
合 計		2,155	2,186	-31	98.6%

(車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値)